



アナウンサー
つじおか ぎどう
辻岡 義堂さん

1986年生まれ。藤沢市出身。
2009年、慶應義塾大学総合政策学部を卒業後、日本テレビに入社。2015年より「ズームイン!!サタデー」(毎週土曜5時30分～8時)で6代目総合司会を務めている。

学校教育はすべて藤沢

生まれも育ちも藤沢市です。鶴沼の医院で生まれ、片瀬小学校を卒業し、中高は慶應義塾湘南藤沢、大学も慶應大学の湘南藤沢キャンパスに進みました。

義堂という名前は、父方の祖父がつけてくれました。父も祖父も名前に義の字がついているんです。堂は、正義感をもって堂々とした人生を歩んでほしいという願いが込められているそうです。

中学から大学までずっとバスケットボールをやっていました。なかでも高校時代の部活の岩崎友子先生は厳しかった。日本代表にもなれたほどの方で、練習に臨む姿勢や後輩を思いやる気持ち、親への感謝など、主に精神面で3年間叱られ続けました。でもそのおかげで、社会に出てから何があっ

ても大したことないと思えるようになりました。今でも高校時代の夢を見るほどですが(笑)、先生には本当に感謝しています。

19歳で「海の王子」に

大学1年のときに藤沢をPRする「湘南江の島の王子」を務めさせていただいたのも大きな思い出です。母が募集チラシを持ってきて勧めてくれました。当時の海の女王、海の王子に藤沢市出身の人がいなかったの、「藤沢をPRするなら地元の間人がやるべきなんじゃないか」と応募しました。

海の王子としての活動は濃くて刺激的なものでした。市の観光課や観光協会の方々とバス1台に乗り込んで、PRキャラバンとして他県へ。市長を表敬訪問したり、地元のラジオやテレビに出演して藤沢市をPRしまし

日本テレビの情報番組「ズームイン!!サタデー」でエネルギーに司会を務める辻岡義堂さん。明るくポジティブな辻岡さんに、生まれ育った藤沢の思い出をたっぷりお聞きしました。

た。キャラバン隊のなかで、僕が一番年下だったので、皆さんに可愛がっていただきましたね。大人との付き合い方も学ぶことができ、学生の僕にとっては大きな社会勉強になりました。

憧れの人の背中を追って

子どもの頃からなぜか我が家では4チャンネルがついていることが多く、毎日「ズームイン!!朝!」を見ていました。幼いながらに、福澤朗^{あきら}さんの熱血ぶりに憧れましたね。大学3年で将来の進路について考えていたとき、アナウンサーの試験を受けました。母をはじめ、ゼミの先生や友人から「アナウンサーに向いているんじゃないか」と言われていた影響もあったかもしれません。当時、司法試験の勉強もしていましたし、大学院への進学も考えていましたが、日本テレビから内定をいただき入社しました。

生放送のライブ感を大切に

2015年から情報番組「ズームイン!!サタデー」の総合司会を務めています。この番組の初代の総合司会が福澤朗さん。憧れの方の番組を担当できて光栄です。それまでも番組でコーナーを任されていたが、総合司会は全く違う。緊張していたところ、初回前日、福澤さんから突然メールが届きました。「ズームインの灯を継承していただきたい」と。福澤さんのカッコよさに痺れましたし、勇気づけられました。

司会を務めるうえで大切にしていることは、ライブ感です。生放送なので、事前に用意すぎてもあまり面白くならない。その瞬間の現場の雰囲気や出演者の反応に合わせてMCをしています。テレビの画面からチームワークや空気感が伝われば嬉しいです。

アナウンサーとして、福澤朗さん、羽鳥慎一さんはじめ、先輩の皆さんからはとても大

きな影響を受けていますが、総合司会をやっていると、大先輩である徳光和夫さんのすごさが身に染みてわかるようになりました。気配り、心配りも細やかな方ですし、徳光さんがいるだけで番組が成立する。番組で共演した方を輝かせる最高の引き立て役。司会者の究極の姿だと思います。

3児の父として奮闘中

5歳の娘と2歳、0歳の息子と、3人の子育て中です。休みの日には子どもたちの刺激になるようなことを体験させたいと思っていて、公園やキャンプに行くことが多いです。「次は何をしようかな」と休日の計画を考えることに熱中しています。休みは常に家族5人で行動。妻が友達と出かけるときは僕らも行きますし、僕の友達と会うときも同じです。

ただ、礼儀や言葉遣いに関しては、子どもたちに厳しく言っています。大人の話の間に割り込まないとか、敬語や「ら抜き」言葉を使わないなど、その都度言ってきかせます。大人になって、言葉遣いが良くて損をすることははないと思うので…。子どもが3人いるとジャングルのなかにいるようで大変なときもありますが、妻とフォローしあいながら楽しんでいます。